備　前　市　事　務　事　業　評　価　シ　ー　ト

（平成22年度事業）

事業の概要

事業開始年度			平成１１年～
総合計画 大項目	基本目標	01	安全で快適に暮らせるまちづくり
総合計画 中項目	基本施策	04	安全で安心に暮らせるまちづくり
総合計画 小項目	施策	01	交通安全
事務事業名		06	市営駐輪場維持管理事業

根拠法令・例規等	備前市自転車等駐輪場管理規則
問合先 担当課（室）	市民課
問合先 職・氏名	生活安全係長　初治　慎一
問合先 電話	0869-64-1876
このシート作成に要した時間	2.0 時間

Plan

事業の目的

対象（誰・何に対して）	市営駐輪場を利用する市民。
目的（何のために）	市営駐輪場内の放置自転車を防止することにより、市営駐輪場の有効活用及び環境美化を図る。
事業の意図する成果（どのような状態にしたいのか）	市営駐輪場の放置自転車等の台数を削減をする。

Do

事業の実績

目的を達成するため実施した事業

細事業名	事業の説明	優先度
市営駐輪場維持管理事業	利用者の利便を図るため、主に駅周辺に自転車等駐輪場を設置していますが、大学へ進学等により自転車を利用しなくなった人が、駐輪場に長期間放置しているため、駐輪場を利用したい人が置けなくなっいます。 駐輪場に長期間放置している自転車は、警告札を貼り、警察署に身元照会等を実施後に撤去しています。	○

事業費等		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績
決算額 事業費	直接事業費	千円	317	289	238
	必要人員　人件費	千円	0.10人　925	0.09人　935	0.11人　743
	事業費計	千円	1,242	1,224	981
財源	国県支出金	千円			
	受益者負担	千円			
	繰入金	千円			
	市債	千円			
	その他（　）	千円			
	一般財源	千円	1,242	1,224	981
受益者負担比率		%	－	－	－

結果指標名		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績
結果指標	放置自転車等撤去	説明	長期に放置された自転車を回収し、身元照会等により処分する。		
	結果指標量	台	125	96	85
	対前年比	%	－	76.8%	88.5%
	活動コスト	円	740,000	655,000	520,000
	単位当たりコスト	円	5,920	6,823	6,118

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性を評価

事業の成果

成果指標名	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度目標値
放置自転車等人口割合	目標値（A）	0.2	0.2	0.2	0.2
	実績値（B）	0.31	0.25	0.22	到達目標値
	達成率（B/A）	155.00%	125.00%	110.00%	0.2

成果指標設定の考え方・式や説明

（放置自転車の台数 85台／4.1 現在の人口　38,485人）×１００

Check

事務事業の評価

５段階評価（A～E）のランク基準　A：高い　B：やや高い　C：普通　D：やや低い　E：低い

妥当性の評価

市の関与の妥当性

- ☑ 市が実施するよう法令で義務づけられている
- ☑ 法令で義務づけられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす
- ☐ 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない
- ☐ 事業の内容が一部の受益者に偏っている

市の関与の必要性

- ☐ 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている
- ☑ 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である
- ☐ 事業開始当初の目的から変化してきている
- ☐ 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている
- ☑ 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある

市民ニーズ

- ☑ 市民・団体等から要望・要請が強い

妥当性評価 <A～E>：**A**

効率性の評価

コスト

- ☐ 単位当たりコストは前年度と比較して改善している
- ☐ 実施方法（派遣・委託含）を見直すことでコストを下げる余地がある
- ☐ 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある
- ☑ コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい

手段

- ☐ 受益者負担率は適正である
- ☐ 受益者負担率を見直す余地がある
- ☑ サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない
- ☑ 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある
- ☑ 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている

効率性評価 <A～E>：**B**

有効性の評価

目的達成度

- ☑ 成果指標の設定は適切である
- ☐ 成果指標の到達目標値は達成できそうである
- ☐ 成果指標達成率は前年度と比較して向上している
- ☐ 成果指標達成率は80%未満となっている
- ☐ 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない

市民参画度

- ☑ 法定事務　・　内部管理事務　であり成果は求めにくい
- ☐ 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している
- ☑ 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している

有効性評価 <A～E>：**B**

進行年度（H23年度）の改革改善内容

状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		○					

説明：駐輪場の環境美化及び利用者の利便性に努めており、放置自転車発見及び第三者からの通報により、警告札の取り付け・撤去・処分と迅速に対応している。

総合評価

５段階評価（A～E）のランク基準　A：高い　B：やや高い　C：普通　D：やや低い　E：低い

駐輪場の環境美化及び利用者の利便性のため必要な業務であり、警察署に照会後に撤去・処分を迅速に行い、放置されにくい環境づくりに努める。また、駐輪場付近の放置自転車は、不用になり廃棄していると考えられることから、関係部署と連携し、適正処理を促していく必要がある。

評価区分 <A～E>：**B**

Action

平成24年度の方向性・取組目標

方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了

取組目標：引き続き、市営駐輪場の環境美化及び利用者の利便性のため放置自転車等の台数を削減していく。